

第41期事業報告書

(平成10年4月1日～平成11年3月31日)



©SEGA ENTERPRISES, LTD.,1998

シエム

未体験の遊びがここに。

雪降る横須賀の街、行き交う人々。

少年は一人、答えを求めて街をさまよう。

握り締めた拳は何を思うのか。

行く手には何が待つのか。

「シエムー ~ 莎木 ~」

これは、愛と勇気と友情の物語。

涼の、そしてあなたの物語。

父の死の謎を追い求め、涼の旅が始まる。

行く手には、何が待ち受けているのか.....。

行きたいところへ行ける。見たいものを見て、

調べたいものを調べられる。

時間がそこにある。

気持ちのいい朝が来て、暖かい昼になり、

美しい夕暮れを経て、静かに夜が訪れる。

雨の日もあれば、雪の日もある。

時は、休むことなく流れつづけている。

生活がそこにある。

公園での散歩を日課にしている人。

毎日の商売に精を出す人。道端で遊ぶ子供たち。

皆それぞれに日々の暮らしを生きている。

そう、世界がそこにある。

人々との出会い、ふれあい。様々な出来事を通じた成長。

あなたを巻き込んだ、壮大な感動のドラマが、今、生まれる。

21世紀を目前にした今、インターネットというグローバルなインフォメーション・インフラが世の中に大きな変化をもたらし、ネットワーク化の進んだ高度情報化社会が実現されようとしています。中でもEQ(エレクトロニック・コマース：電子商取引)は、世界中で注目されています。ECの普及は、既存の産業形態、流通、物流、金流を変えられると思われま

す。セガは、こうした時代の変化とともに更なる飛躍を遂げるのできる企業です。ご家庭に簡単にインターネットの世界を実現させた「ドリームキャスト」は、ネットワーク社会の情報端末として実に多くのお客様から支持されています。今までにない超大作ソフトの完成・発売が、ご家庭の情報インフラとしての「ドリームキャスト」の普及に大きく貢献することと期待しています。

人々のより豊かな感性を引き出す「遊び」は、生活が高度化する未来においても、より欠くことのできない大きな要素となることが考えられます。IT(Information Technology)産業の中でも、ハイテクエンターテインメント産業が注目される理由です。セガはハードそしてソフトの分野にまたがり、この分野で世界最先端のコア技術を有しています。

全国で展開するアミューズメントテーマパークやアーケード、その中で注目を浴びる最先端の業務用アミューズメントマシンの開発・販売に関して、セガは世界のトップシェアを堅持しています。そして今、デジタル技術、通信技術、3D-CG技術を駆使して、創造性豊かな「新次元のエンターテインメント」の提供を実現させていきます。



代表取締役会長
大川 功



代表取締役社長
入交 昭一郎

当期のわが国の経済情勢は、雇用・所得の悪化による個人消費の低迷と需要不足にともなう設備投資の抑制、金融システム不安および引き続くアジア経済の不振等から厳しい景気後退が深刻化、長期化いたしました。

当業界におきましても、若年層の感性に合った新しい商品はヒットいたしました。景気の悪化からくる個人消費の低迷で市場が冷え込み、全体としては依然盛り上がりがない中で推移いたしました。

このような環境のもと、当社は、アミューズメント事業におきましては、低コスト、高性能の新汎用基板「NAOMI」の投入、コンシューマ事業におきましては、128ビット家庭用テレビゲーム機「ドリームキャスト」の国内販売を開始いたしました。アミューズメント事業では景気低迷による消費不振、オペレータの購買意欲低下から、また、コンシューマ事業では新ハード立ち上げにともなうソフト・ハードの開発・生産工程の遅れ等からいずれも減収となりました。一方、企業体質の健全化により今後の収益力回復を図るため、不採算のアミューズメント海外オペレーションの整理、メイキング倶楽部関連滞留在庫の整理、「セガサターン」部材在庫の整理とソフト開発費の償却、PCソフト事業投資の処理、3Dfx社との訴訟和解金の支払および投資有価証券評価損処理等を行い、合計339億1千万円を特別損失に計上いたしました。

これらの結果、売上高2,145億5千万円で前期比21.0%の減収、経常利益4億3千万円で同96.1%の減益、当期損失333億8千万円（前期は当期損失433億円）となりました。

また、当期利益配当金につきましては、1株につき普通配当金15円、特別配当金8円の計23円とさせていただき、中間配当金を加えました通期の配当金は、1株につき39円となりました。

業務用機器販売部門

当部門の売上高は562億円(前期比44.8%減)となり、うち国内売上高は334億2千万円(同51.8%減)、輸出売上高は227億8千万円(同30.0%減)となりました。

国内につきましては、CQ(コンピュータグラフィックス)システムボード「MODEL3」を使用したスポーツゲーム「バーチャストライカー2 バージョン'99」や格闘ゲーム「電腦戦機バーチャロン オラトリオ・タングラム」等の差別化製品を販売する一方、下期からは新汎用基板「NAOMI」の投入により、シューティングゲーム「ザ・ハウス・オブ・ザ・デッド2」などの製品を発売し低迷している市場の活性化に注力いたしました。しかし、音楽系ゲームの影響や景気低迷に連動したアミューズメント市場の冷え込み、特に年明け後の急激かつ深刻な消費不振によってオペレータの購買意欲が低下したため厳しい展開となり減収となりました。

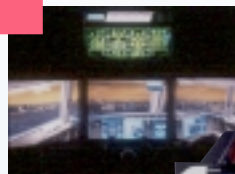
輸出につきましては、スポーツゲーム「バーチャストライカー2 バージョン'99」、ドライビングゲームの「デイトナ USA2 パワーエディション」や「ハーレーダビッドソン & LAライダーズ」等、顧客ニーズに合った製品を販売するとともに、「NAOMI」基板製品の発売により新しい客層の開拓に注力いたしました。アジア経済不況と欧米アミューズメント市場の伸び悩みから減収となりました。



バーチャストライカー2 バージョン'99
©SEGA 1994,1998
©1996 JFA



ザ・ハウス・オブ・ザ・デッド2
©SEGA 1996,1998



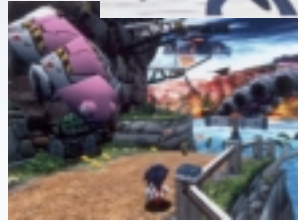
AIRLINE PILOTS
©SEGA 1999 協力 JAL

コンシューマ機器販売部門

当部門の売上高は684億3千万円(前期比8.0%減)となり、うち国内売上高は594億2千万円(同2.6%増) 輸出売上高は90億1千万円(同45.3%減)となりました。

国内につきましては、「ドリームキャスト」の国内販売を世界市場に先駆け開始いたしました。モデム内蔵で通信機能を有するハードとともに、ソフトウェア内蔵として格闘ゲーム「バーチャファイター3tb」、アクションゲーム「ソニック アドベンチャー」、シューティングゲーム「ザ・ハウス・オブ・ザ・デッド2」およびネットワークゲーム「セガラリー2」等有力ソフトを順次揃え販売に努めましたが、新ハード立ち上げにともなうハード・ソフトの全体的な開発・生産工程の遅れ等が直接販売にも影響したことにより厳しいスタートとなりました。一方、ネットワークにつきましては、「ドリームキャスト」購入者の30%以上がアクセスするなどネットワーク端末としての需要が大きく広がりました。

輸出につきましては、「ドリームキャスト」のアジア向けの発売を開始し「セガラリー2」等のソフトにより販促に努めました。



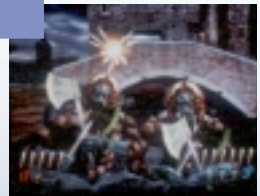
ソニック アドベンチャー
©SEGA ENTERPRISES,LTD.,1998



セガラリー 2
©SEGA ENTERPRISES,LTD.,1998,1999



バーチャファイター 3tb
©SEGA ENTERPRISES,LTD.,1997,1998

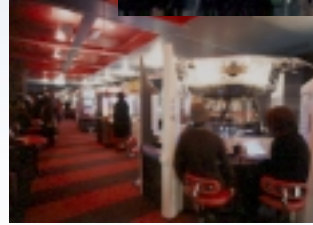


ザ・ハウス・オブ・ザ・デッド 2
©SEGA ENTERPRISES,LTD.,1998,1999

アミューズメント施設運営部門

当部門の売上高は879億4千万円(前期比3.3%減)となりました。

当部門におきましては、ATP(アミューズメントテーマパーク)で「岡山ジョイポリス」と「梅田ジョイポリス」をオープンするとともに、運営効率のよい中型店舗「クラブセガ」、「セガアリーナ」を渋谷、浜大津等に8店舗出店し集客に努めました。また、映画館、ボウリング、カラオケ、飲食および物販等を併設したマルチエンターテインメントの構築と店舗運営ノウハウの改善によるサービスクオリティの向上を推進いたしました。しかし、全般的な個人消費不振や携帯電話等ネットワーク・コミュニケーションにともなう若年層の消費支出の増大による市場変化のため、特に小規模店舗の停滞が続き減収となりました。



クラブセガ渋谷



梅田ジョイポリス



岡山ジョイポリス



ドリフトカート



ホラーライド

財務の状況

貸借対照表

(単位：百万円)

				第40期 (平成10年3月31日現在)	第41期 (平成11年3月31日現在)
資産の部	流動資産	固定資産	資産合計	178,233 167,618 686 346,538	234,006 182,308 1,446 417,762
	流動負債	固定負債	負債合計	88,709 125,793 214,502	100,179 216,946 317,125
	法定資本剰余金	準備金	資本合計	39,153 41,077 51,804 132,035	42,109 44,423 14,104 100,636
負債および資本合計				346,538	417,762

損益計算書

(単位：百万円)

				第40期 (自平成9年4月1日 至平成10年3月31日)	第41期 (自平成10年4月1日 至平成11年3月31日)
経常損益の部	営業収益	営業費用	営業利益	271,474 259,433 12,041	214,546 212,464 2,081
	営業外収益	営業外費用	経常利益	5,246 6,256 11,030	3,619 5,269 431
	特別利益	特別損失	特別利益	510 48,343	338 33,906
	引当金繰入	引当金繰出	引当金繰入超過額	36,802 6,498 — 43,300	33,137 — 245 33,383
	前期繰越利益剰余金	中期繰越利益剰余金	前期繰越利益剰余金	5,571 1,509 150	3,075 1,610 161
	当期未処理損失	当期未処理損失	当期未処理損失	39,388	32,078

利益処分

(単位：百万円)

				第40期	第41期
これを次のとおり処分した					
当期未処理損失	固定資産圧縮積立金取崩額	別途積立金取崩額	これを次のとおり処分した	39,388 10 45,000	32,078 10 38,000
利益準備金	役員賞与	別途積立金	次期繰越利益	231 2,314 — — 3,075	237 2,374 — — 3,320

(注)：百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

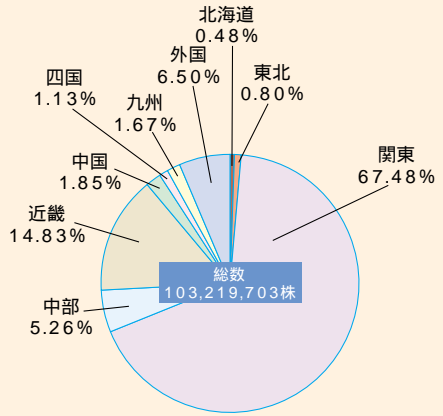
(平成11年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 103,219,703株
 1単位の株式数 100株
 株主数 76,535名(うち単位株主数71,787名)
 前期末比9,133名増(うち単位株主9,407名増)

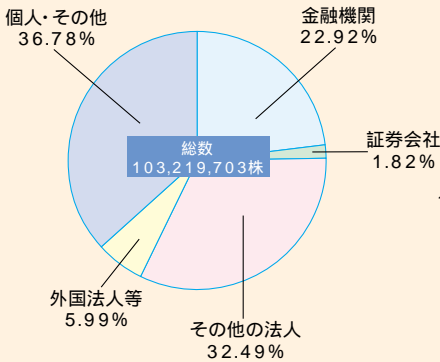
大株主

株主名	持株数
株式会社C S K	20,148,688株
株式会社オー・エス・キャピタル	3,384,957
中山隼雄	3,162,602
株式会社住友銀行	2,554,091
日本生命保険相互会社	2,475,543
三菱信託銀行株式会社信託口	2,425,000
財団法人中山隼雄科学技術文化財団	2,400,000
大川 功	2,175,718
住友信託銀行株式会社(信託口)	1,948,700
株式会社オムニテック	1,560,000
株式会社パシフィック・プロダクツ	1,560,000
株式会社エス・プランニング	1,560,000

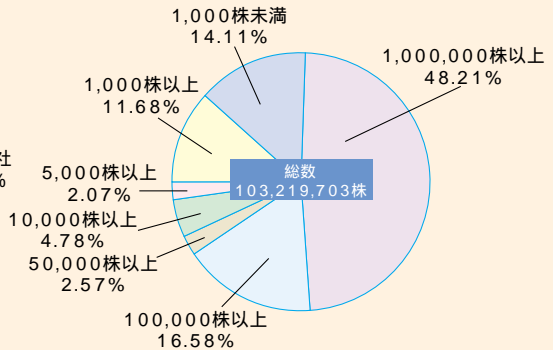
地域別分布状況



所有者別分布状況



所有株数別分布状況



コンピュータ西暦2000年問題への対応状況等について

対応状況等

当社は、西暦2000年問題を業務活動の継続およびお客様対応の面での重要事項と認識し、本件を経営上の最重要課題のひとつとして対応を進めています。

<取組体制>

担当執行役員を委員長に、情報システム部門、プログラム開発部門、部品調達部門、ネットワーク運営部門、アミューズメントテーマパーク運営部門、施設管理部門などからなる「西暦2000年問題対策委員会」を組織し、対応しています。遺漏なき対応を可能にするために、社内を幅広く網羅した組織体制となっており、同委員会は定期的開催され、各部が進捗状況を報告し、その結果を経営トップに報告する体制となっています。

<進捗状況>

社内情報システムについては、調査開始の時点でその80%以上が2000年問題に対応済みであり、1999年8月末にはすべての部分で、テストも含め対応を完了する予定です。当社製品・ネットワーク関連機器に関する部品機器供給先の対応状況、当社製品のプログラム、本社施設の保安施設などについても担当各部が確認作業を進めており、1999年9月末の対応完了を目指して取り組んでいます。

対応のための支出金額等

社内情報システムの対応コストを明確に区別することはできませんが、1998年度は約700万円を支出し、1999年度は約3,000万円の費用を見積もっています。さらに、アミューズメントテーマパーク、本社施設のマイコン内蔵機器対応のために、1999年度は約300万円の費用を見積もっています。こうした対応コストが当社業績およびキャッシュフローに重大な影響をもたらすことはないと思われされます。

危機管理計画等

当社では様々な事態が発生することを想定し、前述「西暦2000年問題対策委員会」を中心に危機管理計画を検討し、1999年9月末までにその計画をまとめる予定です。

役員

(平成11年6月29日現在)

代表取締役会長	大川	功	取締役	福島	吉治
代表取締役社長	入交	昭一郎	取締役	秋元	康
取締役副社長	鈴木	久司	取締役	園山	征夫
取締役副社長	廣瀬	禎彦	常勤監査役	家田	和忠
取締役副社長	青園	雅紘	常勤監査役	西	巖
常務取締役	高倉	鉄夫	監査役	宮崎	金助
			監査役	外立	憲治

主な子会社・関連会社



セガ オブ アメリカ, インク .

セガ エンタープライゼス, インク .(U.S.A.)

セガ ゲームワークス L.L.C.

セガ ピンボール, インク .

セガ ソフト ネットワークス, インク .

セガ ヨーロッパ リミテッド

セガ アミューズメンツ ヨーロッパ リミテッド

セガ オペレーションズ UK リミテッド

SGE ホールディングス リミテッド

JPM インターナショナル リミテッド

エース コイン エクイップメント リミテッド

セガ ATP ヨーロッパ リミテッド

セガ インターナショナル ファイナンス B.V.

セガ アミューズメンツ タイワン リミテッド

セガ ファーハン カルチャー エンターテインメント カンパニー リミテッド

セガ エンタープライゼス (オーストラリア) ピーティーワイ, リミテッド

セガ ディストリビューション オーストラリア ピーティーワイ, リミテッド

ロッテ セガ カンパニー リミテッド

現代 セガ エンターテインメント カンパニー リミテッド

ライト印刷(株)

(株)セガ・リース

(株)セガ トイズ

(株)セガ・ミュージック

(株)セガ・ミュージック・ネットワークス

(株)エスジーメディア

(株)セガ興産

(株)セガ・ロジスティクスサービス

セガ音楽出版(株)

(株)エスジーエス

(株)エイティーワン・エンターテインメント

(株)オアシスパーク

(株)セガ・フードワークス

シムス(株)

(株)エスアイエレクトロニクス

(株)ネクステック

(株)トリロジ

(株)CSK

その他のCSKグループ

株主メモ

決算期 毎年3月31日(年1回)
定時株主総会 毎年6月中
基準日 毎年3月31日
臨時株主総会の開催その他必要のあるときは、あらかじめ公告し定めます。
名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
(および照会先) 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社証券代行部
電話 東京 府中(042)351-2211
大阪 千里(06)6833-4700
同取次所 住友信託銀行株式会社本店および全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞
上場証券取引所 東京、パリ

株式会社セガ・エンタープライゼス

本社所在地 〒144-8531 東京都大田区羽田1丁目2番12号
TEL(03)5736-7111(代表)

事業所・支店

本社3号館 〒144-8532 東京都大田区東糀谷2丁目12番14号
大森事業所 〒143-0013 東京都大田区大森南3丁目23番15号
川崎事業所 〒210-0833 神奈川県川崎市川崎区桜本2丁目32番1号
矢口事業所 〒270-1501 千葉県印旛郡栄町矢口神明5丁目3番2号
札幌支店 〒062-0905 札幌市豊平区豊平五条3丁目2番34号
TEL(011)841-0248(代表)
関西支店 〒561-0814 大阪府豊中市豊南町東2丁目5番3号
TEL(06)6334-5333(代表)
九州支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南5丁目7番5号
TEL(092)452-6841(代表)